

キユー卜

加羅古呂庵 一泉

キュート

箏を習い始めて間もない子どもたちのために、押し手や細かい手がない曲があるとよいとのサジェスションを受けて作曲しました。小さい子が成長して、ひとり立ちしていく様子をタンポポの変化に重ねて「たんぽぽ咲いた」「ふわふわ綿毛」「風に旅立つ」の3つの部分から構成しましたが、通しで演奏してもいいですし、1つ、2つを選んで独立した曲として演奏することも可能です。また、箏の二重奏曲としても演奏できますし、十七絃・三絃がサポートに入って四重奏曲にするとより楽しい曲になるでしょう。いろいろと機動的な演奏ができるように作りました。

箏のパートは、基本的に8分音符までとしましたが、単調に感じられる面もありますので、経過音的に16分音符を入れたところがあります。8分音符と16分音符のからみ合いで、細かい手のように聞こえるかもしれません。

タンポポの黄色い花が一齐に咲いて、やがて白い綿毛に変わり、風に乗って飛んでいく情景は、あらためて説明するまでもないでしょう。春になるとタンポポは至るところに咲いていて、街なかではセイヨウタンポポが多いですが、この曲の題材にしたのは、街はずれの谷あいの地に咲くカントウタンポポの群落です。少し湿り気が感じられるその土地は、養分が豊富なのでしょう、タンポポがのびのびと大きな花を咲かせていました。

※縦譜（三絃譜）につきましては、箏I・箏IIのパートをまとめて補助的に記載しています。正確には、加羅古呂庵ホームページの「作品リスト」より五線譜（スコア）をご参照ください。



加羅古呂庵ホームページ

The musical score is written for four instruments: Shamisen (三味線), Goto I (箏I), Goto II (箏II), and Shichuwan (十七絃). The Shamisen part is in the treble clef with a key signature of one flat and a 4/4 time signature. It features a simple melody with notes on the 2nd, 3rd, and 5th lines, labeled '二上がり' (Ni no Ue-gari). The Goto I and II parts are also in the treble clef and play a 'Hanaun Tunji' (花雲調子) melody. The Shichuwan part is in the bass clef and plays a similar melody. The score includes fingerings and specific notes for each instrument.

運指、奏法については、適宜工夫していただいてけっこうです。